

## フィリピン ALLC 英語研修参加学生募集のお知らせ

新潟大学では、新潟大学個性化科目（自由主題）「フィリピン ALLC 英語研修（開講番号 180G3935）」として、約 5 週間のショートプログラムを下記のとおり実施します。本研修は、JTB 旅行企画・取扱にて実施されます。

### 1. 本プログラムの目的

- (1) 英語研修 (2) 異文化体験

### 2. 募集対象者

本学の正規課程に在学している学生を対象とします。

※過去に実施された本プログラムに参加した学生は、原則対象外とします。

### 3. 募集人数

10 名程度（最少催行人数：6 名）

※応募者数が最少催行人数に達しない場合は、研修を中止します。

### 4. 日程

(1) 日程：平成 30（2018）年 8 月 11 日（土）出発、9 月 15 日（土）帰国（36 日間）※予定

(2) 研修内容：

○集中英語研修（8 月 13 日(月)～9 月 13 日(木)）

フィリピン・マニラ市近郊のケソン市にあるアテネオ・デ・マニラ大学の言語学習センター（ALLC）で、Intensive English Language Program(IELP)コースの授業を受講します。授業は、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能の強化・向上を目的とした 5 週間集中型のもので、「初中級」「中級」「中上級」のレベル別に分けられたクラス（1 クラス 15 名程度）において、他国からの参加者と一緒に学びます。期間中、平日は一日 6 時間の授業があります。

### 5. 研修先について

研修先：

アテネオ・デ・マニラ大学 アテネオ言語学習センター（The Ateneo Language Learning Center (ALLC)）

### 6. 滞在先

アテネオ・デ・マニラ大学に隣接する宿泊施設（My Place）（予定）。原則、4 人部屋を利用します。

### 7. 参加費用等

プログラムの参加費用は、25 万円程度を見込んでいます。これには、航空券などの旅行代金、英語研修授業料、宿泊費、フィリピン・マニラ空港から宿泊施設間の往復送迎費などが含まれます（ただし、為替レート等の影響により変動する場合があります）。

渡航に際しては、短期滞在ビザを取得する必要がありますが、旅行代理店を通じて代理申請を行う場合は、別途費用が必要となります（平成 29 年度費用：23,380 円）。

参加費用には、有効な旅券（＝パスポート）を持たない場合の旅券申請費用、海外旅行傷害保険料（加入必須）、危機管理サービス加入費用（加入必須）、出発・帰着空港と自宅間の交通費、4,740 ペソの特別就学許可証（Special Study Permit (SSP) 約 10,500 円）取得費用は含まれません。また、現地での食費、お小遣いが別途必要となります。

## 8. 奨学金

一定の資格及び要件（別紙参照）を満たす学生（参加者の7割程度上限）は、（独）日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度（協定派遣）による給付型奨学金14万円の申請対象となります。この奨学金は渡航中に支給対象学生の口座へ振り込まれます（渡航前には支給されません）。

奨学金支給対象者は、本プログラム参加決定後、資格及び要件の確認を経て決定します。支給対象者となった学生には、JASSOの定める報告書等の提出が義務付けられています（提出期限厳守のこと）。

## 9. プログラムの参加者募集説明会

本プログラムの参加者募集説明会を下記の日程で行います。本プログラムへの応募を検討する学生は、いずれかの日程に必ず参加してください。

日時・場所：

平成30年4月20日（金）12:00～12:45 五十嵐キャンパス総合教育研究棟 **B351**

平成30年5月8日（火）16:30～17:30 五十嵐キャンパス総合教育研究棟 **F271**

※両日とも内容は同じですが、5月8日は昨年度参加者による体験発表を行う予定です。

## 10. 応募にあたっての注意事項

応募は、下記事項について必ず承諾の上で行ってください。

### (1) 履修登録

参加決定後に学務情報システムで履修登録を行います。通常の履修登録期間とは異なりますので、参加決定後の指示に従ってください。

### (2) 事前講義・オリエンテーション

参加が決定した学生に対しては、事前講義・オリエンテーションを行いますので、必ずすべてに出席してください。

### (3) TOEFL-ITP テスト

新潟大学で実施する TOEFL-ITP テスト（団体受験用のペーパー形式のテスト）を、セミナー前後の2回、指定された日（6月16日、10月13日※予定）に受験することが参加の条件となります。これは、セミナーで適切なクラスに配置されるよう、クラス分けの基準にもなり、また、この講義の教育効果と参加者の努力の成果を測定するためのものでもあります。事前のテストを無断で欠席すると、参加をとりやめてもらうことがあり、帰国後のテストを受験しない場合は単位認定の対象となりません。

### (4) レポートの提出

レポート課題の提出とその評価において条件を満たした学生には、4単位が付与されます。

### (5) その他

- ・研修の途中参加（遅れて渡航）及び研修期間中の日本への帰国は認められません（親族の病気などの緊急事態は除きます）。
- ・英語研修には全て出席してください（病気・ケガの場合を除きます）。
- ・渡航期間中は、本学が指定する海外旅行傷害保険及び危機管理サービスへの加入が必須となります。詳細は、参加決定後にお知らせします。

## 11. 応募方法

本プログラムへの参加を希望する学生は、以下（1）～（3）の応募書類を、平成30年5月14日（月）15:00までに留学交流推進課へ提出してください。

<応募書類>

- (1) フィリピン ALLC 英語研修参加申込書（様式1）...パソコンでの入力、手書きのいずれでも構いませんが、フォーマットやページ数は変更しないでください。

- (2) 平成 30 年度第 1 学期のスケジュール（様式 2，エクセル様式）...本様式のみ，紙媒体ではなく，電子媒体（エクセルファイル）で提出してください。
- メール宛先：[studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp](mailto:studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp)
- (3) 直近の成績証明書（和文）...各自で所属学部学務係又は学務部学生支援課，もしくは教務課にある端末で印刷してください。厳封は必要ありません。※1 年生は提出不要です。
- 様式 1・2 ダウンロード先：  
<http://www.niigata-u.ac.jp/campus/international/study-abroad/short-term/>

## 12. 参加者の決定

応募書類と面接により参加者を決定します。面接の日時及び選考の結果などは，電子メールにて学務情報システムアカウントにメール通知します。なお，参加が決まった学生には，下記の書類を提出いただきます。

＜提出書類＞

- ・ 誓約書（親権者等のサインが必要です。代筆はできません。）
  - ・ 個人情報の使用に係る承諾書（研修終了後に提出いただく報告書等を，広報誌や大学ホームページへ掲載することがあります。）
- ※上記書類については，参加が決まった後に詳細を説明します。

## 13. 参加決定後の辞退について

参加辞退は，他の応募学生の留学機会を失うことにつながるため，原則として認められません。やむを得ない事情により辞退が認められた場合も，キャンセル料がかかる可能性があります。

## 14. パスポートの取得について

有効なパスポートを持たない人は，参加決定後に取得申請してください。手続きについては，下記 URL を参考に早めに行ってください。

- 1) 新潟市に住民登録がある場合，及び新潟県外に住民登録があり新潟市内に住んでいる場合  
＜新潟市 HP パスポートについて＞

<http://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/todokede/passport/index.html>

- 2) 新潟県内の新潟市を除く市町村に住民登録がある場合，新潟県パスポートセンターで申請することができます。

<http://www.pref.niigata.lg.jp/kokusai/1203872491388.html>

## 15. アンケートについて

研修の前後にアンケートを実施する場合がありますので，ご協力ください。今後の新潟大学の短期留学プログラムの企画・運営などに役立てたり，本人の了承を得た上で，新潟大学ホームページに掲載したりする場合があります。

## 16. 本プログラムについての問い合わせ先

プログラム担当教員：人文社会・教育科学系（人文） 准教授 市橋 孝道

メール [ichihashi@human.niigata-u.ac.jp](mailto:ichihashi@human.niigata-u.ac.jp)

新潟大学学務部留学交流推進課（五十嵐キャンパス総合教育研究棟 D 棟 3 階）海外留学担当

メール [studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp](mailto:studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp) 電話 025-262-7332